

株式会社タニガキ建工

<http://www.k-tanigaki.co.jp>



株式会社 **タニガキ建工**

工事部 川中一博 kinokawa@k-tanigaki.co.jp

1. 地域に根ざした斜面防災対策企業

和歌山県は台風の影響を受けやすいことに加え、地質・地形的要因によって地すべり・崖崩れなどの斜面災害が多く発生する地域で知られています。当社は和歌山県北中部の海草郡美里町で昭和29年に「谷垣建設」として創業、平成8年に「株式会社タニガキ建工」と社名を変更、現在に至るまで地すべり調査設計、斜面防災対策工事などで地域の自然災害対策のお手伝いをしてまいりました。

当社の特長は、測量・調査・設計、および工事施工・維持管理までの一貫した土木サービス提供です。土木事業完成までの多様な課題を、どのプロセスへもフィードバックして解決できることが強みであると考えています。これからも、より幅広い技術力を蓄えて新しい技術や工法を創造し、多くのクライアントに満足して頂けるより良いサービスを提供できるように努力していきたくと考えています。

2. リサイクル緑化工法・植物誘導吹付工

当社が施工する法面緑化工法に、植物誘導吹付工があります。植物誘導吹付工とは、建設工事に伴う伐採・除根で発生する植物発生材(枝葉、樹木、根、竹など)を法面緑化の生育基盤材料として有効活用する、いわゆるリサイクル緑化工法(図-1)です。

この工法のメリットとして、植物発生材を廃棄せず有効活用することによる事業費縮減のほか、堆肥化しない破砕材によるネット耐久効果、保温効果、スポンジの保水効果が維持され、長期的な発芽・生育に適していることもあげられます。

このような耐侵食性に優れる特長を活かし、近年は無播種による自然侵入促進工としての利用も増えてきています。



図-1 植物誘導吹付工

表-1 会社概要と連絡先

所在地	和歌山県海草郡紀美野町長谷 391-6
連絡先	073-489-6200
代表者	代表取締役 谷垣和伸
創業年	昭和29年9月
資本金	2,000万円
事業内容	<p>【調査設計業務】 コンサルタント業務、測量業務、地質・地盤調査、室内土質試験、地すべり観測・機構解析、斜面対策工検討、土木構造物設計</p> <p>【建設工事】 アンカー工、切土補強工、法面保護工、杭工、さく井工、地すべり対策工、仮設工、土木一式工事</p> <p>【新技術開発】 スパイダードリリング工法、フラットキャップ、マストドリリングシステム、レミコンブローシステム</p>

3. 地域性植物による法面緑化

地域生態系の保全に配慮した法面緑化のニーズが高まり自然侵入促進工が増えてきましたが、緑化までの期間が不明確で、在来種による植生が成立する確証も無いなど、課題が残ります。そこで地域の法面緑化研究者・技術者が「わかやま地域植物緑化研究会」として連携し、地域植物による法面緑化“緑の地産地消”の実現を目指して活動を始めました。

毎秋には研究会メンバーが集い、自生群落から種子を収穫します(写真-1)。その後、これらを植物誘導吹付工で造成した植生基盤に少量播種した試験施工(写真-2)も行い、良好な結果をあげています。なおこの事例の詳細は、本誌43巻1号 p.195-198に掲載されています。

今後もこの共同研究を通じ、地域貢献を継続していきます。



写真-1 ススキの種子採取



写真-2 地域性種子少量播種(3年目)